



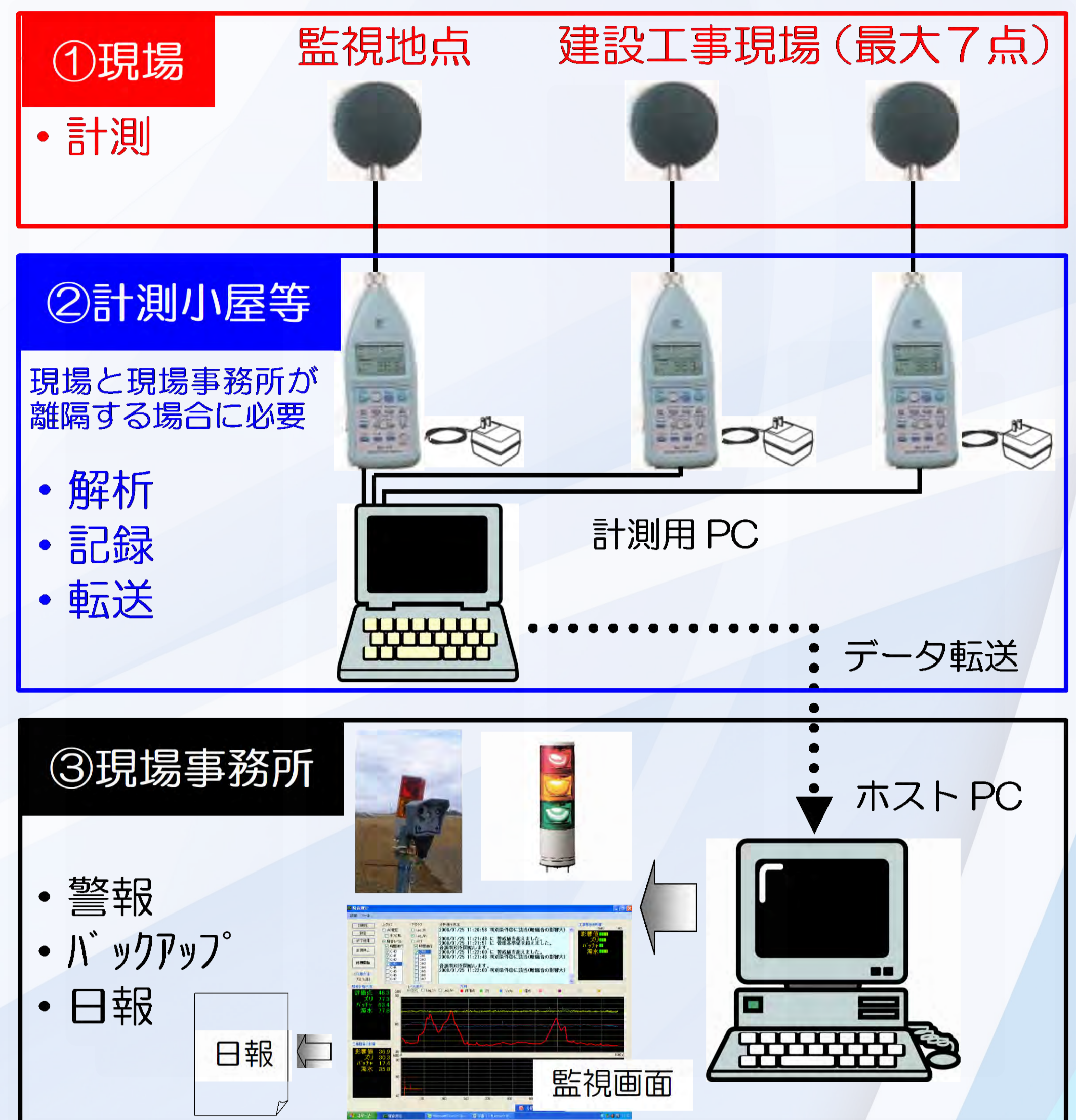
# 工事騒音リアルタイム評価・対応システム

— 建設工事現場から発生する騒音を24時間対応で異常値を監視・警告 —

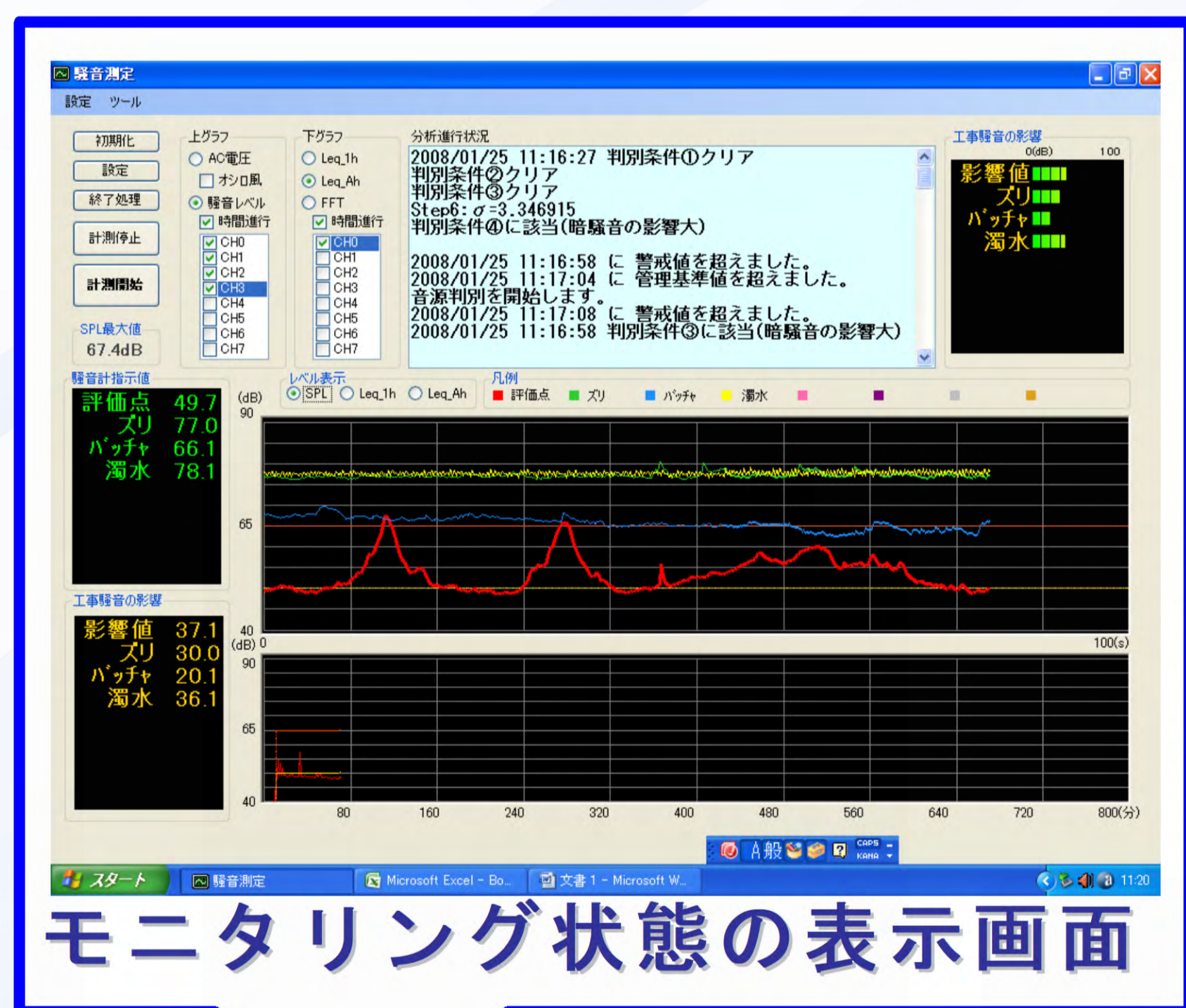
建設工事現場から発生した騒音と監視地点の騒音を同時に記録・解析し、監視地点での騒音が建設工事によるものか暗騒音によるものかを瞬時に判別、工事騒音が管理基準値を超えた場合に迅速に騒音低減を可能とするシステムです。

## ■システム概要

- ・建設工事現場の最大7点、近隣住宅などの監視地点1点で騒音レベルの常時連続監視が可能。
- ・暗騒音の影響を自動判別。
- ・工事騒音レベルが管理基準値等を超えた場合、影響を与えた工事音源と、影響レベルを自動解析。
- ・モニタリング状態をパソコン画面に表示、警告灯などで警報を発信。
- ・環境基準や騒音規制法に準拠した騒音レベルの評価量を算出。
- ・騒音データをHDDに保存、管理日報を出力。



システムフロー図



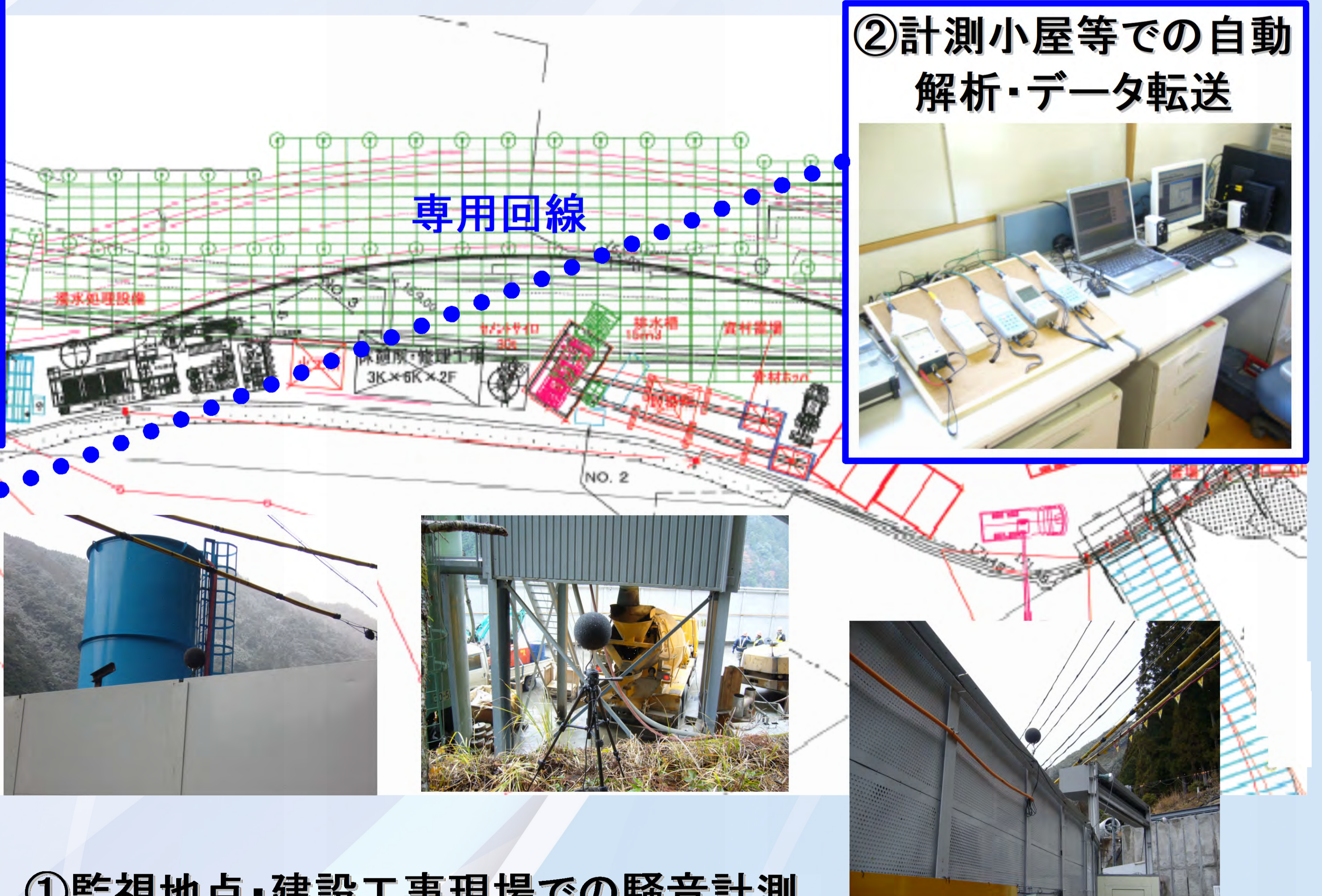
モニタリング状態の表示画面



②計測小屋等での自動解析・データ転送



③現場事務所での管理



①監視地点・建設工事現場での騒音計測





# 工事騒音振動リアルタイム評価システム

—建設工事現場からの騒音と振動を24時間連続で監視・警告—

## ■概要

建設工事現場から発生した騒音や振動の影響を24時間連続監視し、影響を与えた騒音や振動が工事によるものかを自動判別します。工事により管理基準値を超えた場合は、速やかに警報を発信し迅速に騒音や振動の低減対策を可能とするシステムです。

## ■特長

### ◆ 工事騒音リアルタイム評価システム

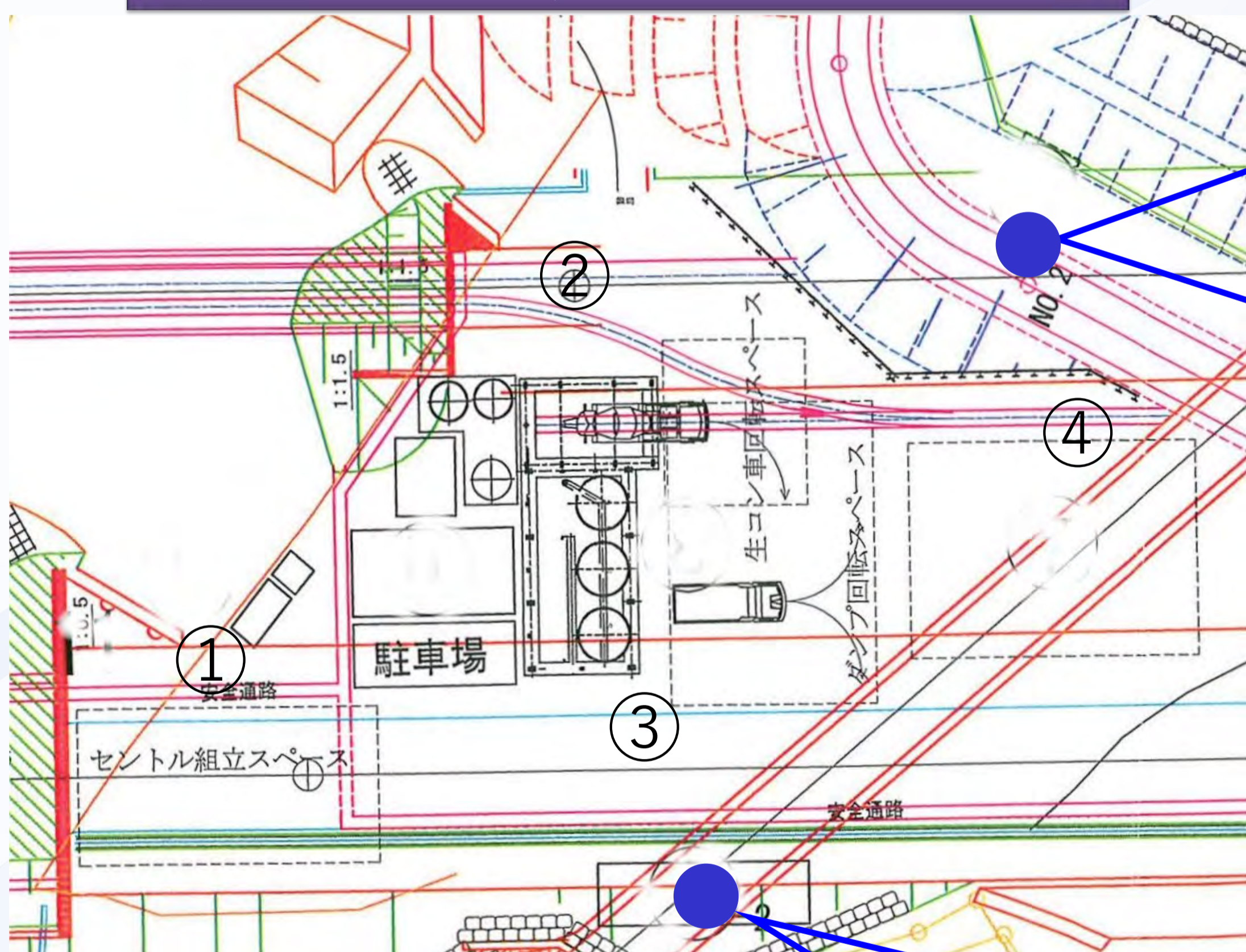
- ・仮設備プラントなど定置の騒音源はもちろん、ダンプなど移動する騒音源の監視も可能です。
- ・騒音評価地点に設置した全天候型マイクロホンアレーによるシステムで監視します。
- ・騒音の管理基準値を超えた場合、自動で警報を発信、迅速な工事騒音低減対策が可能です。

### ◆ 工事振動リアルタイム評価システム

- ・建設工事現場の敷地境界で計測した振動から、住宅等の振動監視地点への影響を自動解析します。
- ・振動レベルの評価量から道路交通振動などの影響を自動で削除します。
- ・振動の管理基準値を超えた場合、自動で警報を発信、迅速な工事振動低減対策が可能です。

## ■実施例

### 建設工事現場の仮設備配置例

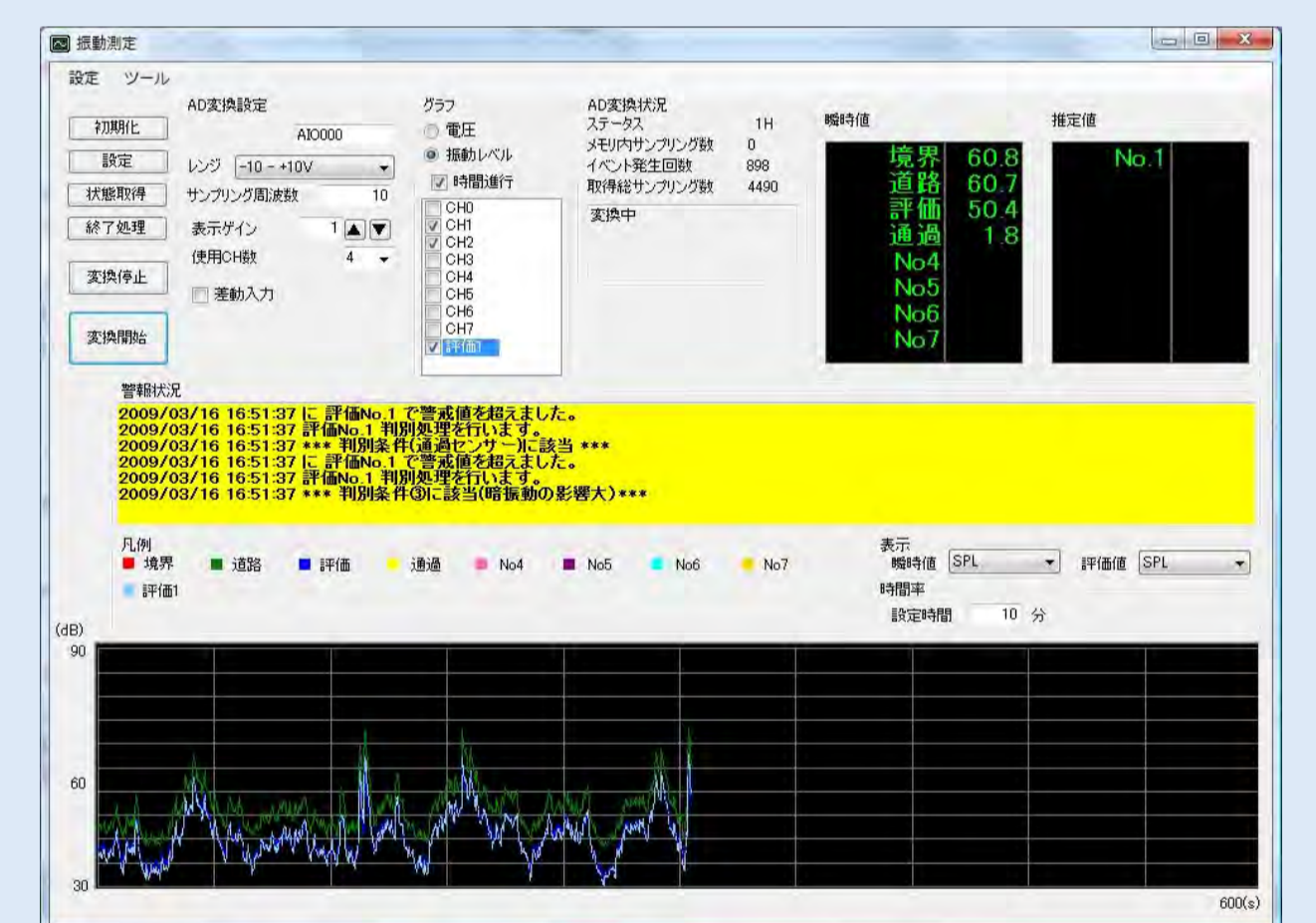


### 工事振動リアルタイム評価システム

掘削ずり二次運搬ダンプ走行(写真④)による振動の管理



システム設置状況



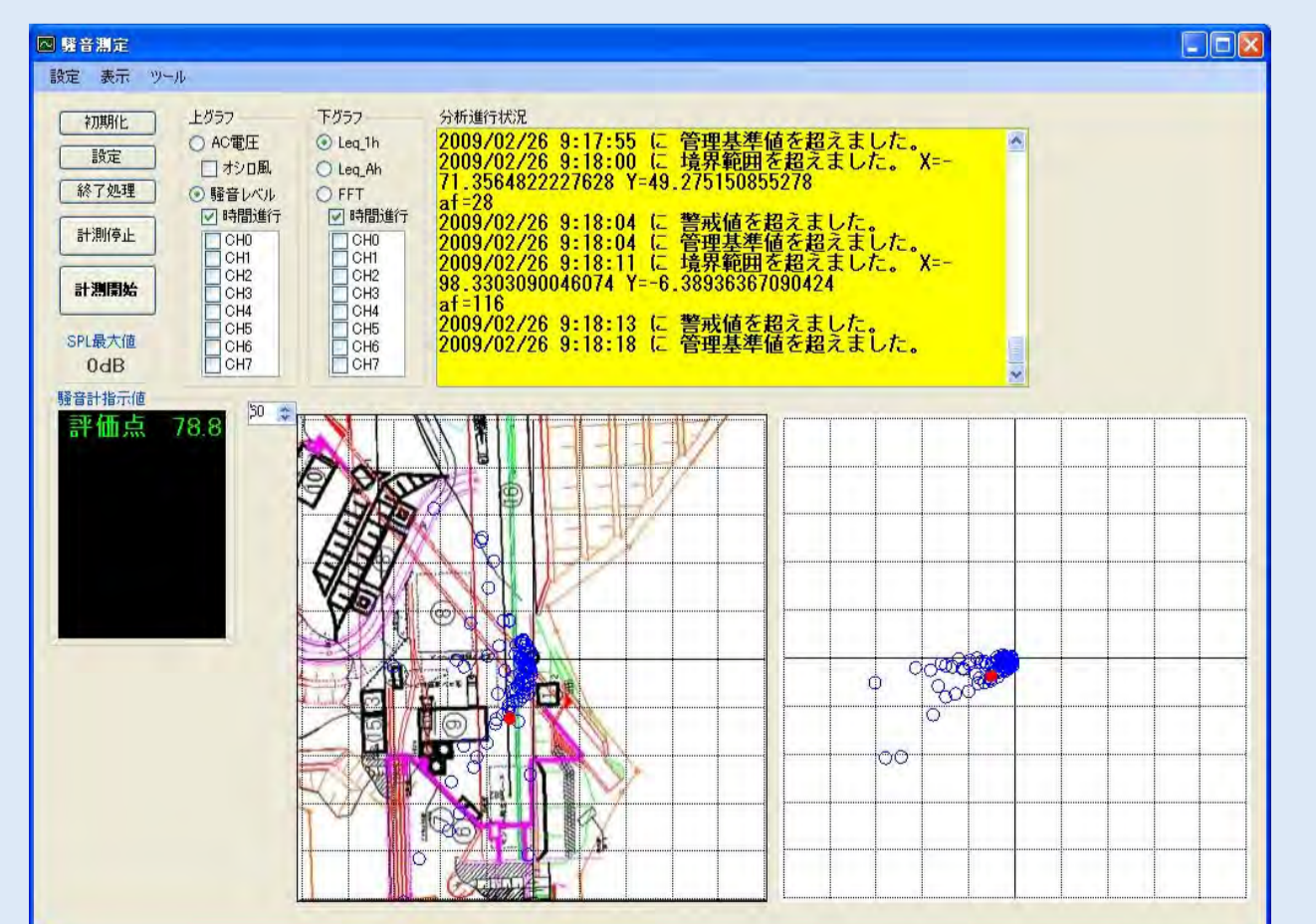
管理状態(パソコン画面)

### 工事騒音リアルタイム評価システム

移動する騒音源(写真③)や定置の騒音源(写真①②)から発生した騒音の管理



全天候型マイクロホンアレー



管理状態(パソコン画面)



① トンネル本坑口



③ 掘削ずり運搬作業



② トンネル避難坑口



④ 掘削ずり搬出作業